

すき

【漉】



愛知県豊田市

復活した小原和紙「三河森下紙」 愛知県豊田市

室町時代から農閑期の仕事として実用品の和紙づくりが行われてきた豊田市小原地区。番傘に使われた「三河森下紙」は、質の良さが工芸家の藤井達吉の目に留まり、小原が工芸和紙の地として発展するきっかけとなったが、昭和30年代には市場から姿を消した。昨年、小原の「豊田市和紙のふるさと」が愛知県立芸術大学と協力し、小原和紙工芸の原点ともいえる三河森下紙を復元したと聞き現地を訪れた。



厚くて丈夫な三河森下紙には、小原で採れるコウゾを使う。粗く叩解してコウゾの長い繊維を残し、水に溶かしてトロロアオイの粘液などを加えて粘性を出したものが、舟水ふなみずと呼ばれる紙の原料。復元にあたり、紙を漉く道具「漉桁すけた」も昔のままに再現した。漉桁に舟水を汲み、たて、よこにリズムカルにゆすりながら、紙を漉くのは、河合友理さん。「簀の端の形状もほかと違い、ふちの仕上がりがきれいだと思います。1枚の重さが2匁もんめ（約7.5g）になるよう厚さを揃えるのが難しいですね。竹簧の透け具合をみながら調整していきます」。漉いた紙は板に張り、天日干したら完成だ。漉いたばかりの水を含んだ紙も、完成した紙も味わいがあり、手仕事ならではの美しさ、手ざわりに魅了された。

N 小原工芸和紙の鑑賞から紙漉き体験まで
豊田市和紙のふるさと

Note 愛知県豊田市永太郎町洞216-1
☎0565-65-2151 (展示館) ☎0565-65-2953 (工芸館)
開館時間 / 9:00~16:30 (工芸館での体験は16:00まで) 休館日 / 月曜
<http://www.washinofurusato.jp/> <http://washifuru.jp/> (直営ショップ)

🚗 東海環状自動車道 豊田藤岡ICより約30分

小原工芸和紙の作品が展示された和紙展示館や紙漉き体験ができる和紙工芸館があり、遊歩道なども整備されている。紙漉き体験は1000円～。和紙工芸館には、三河森下紙をはじめハガキやしおりなど和紙の素敵な土産が揃う。



1回に2枚の紙を漉くように作られた漉桁は、竹の簧のひこが細くて数が多いのが特徴だ。